

NEXT CONCERTS
次期東京定期演奏会

第 **755** 回

サントリーホール

2023年 **11月3日**(金・祝) **19:00**開演 18:30~
4日(土) **14:00**開演 13:20~

プレトーク
奥田 佳道氏

怒濤のリズムが応酬するマエストロ小林による
久しぶりの《カルミナ・ブラーナ》

指揮: **小林 研一郎**
[桂冠名誉指揮者]

ソプラノ: **澤江 衣里**

テノール: **高橋 淳**

バリトン: **萩原 潤**

合唱: **東京音楽大学**

コダライ: **ガランタ舞曲**

オルフ: **世俗カンタータ《カルミナ・ブラーナ》**



©山本 倫子

1回券料金は **S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売 P 合唱団席 Ys (25歳以下) ¥1,500**

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

小林 研一郎 編

聞き手 伊熊 よし子

コーラスもオーケストラも空間に飛び散る音、
自分の発している音を心から楽しまない聴衆には伝わらない

「コバケン」の愛称で親しまれている指揮者小林研一郎は「炎のマエストロ」と称されているが、その情熱的でエネルギッシュな指揮の奥には、常に怜悯で真摯で楽譜の裏側まで読み込み、奥義を極めるクールな目が存在する。作曲家がひとつひとつの音符に込めた苦悩や悲劇や慟哭などをこまやかに代弁し、これまで聴いたことのない世界を繰り広げていく。

10月の東京定期公演でプログラムに組まれるのは、コダライの「ガランタ舞曲」とオルフの世俗カンタータ「カルミナ・ブラーナ」だが、この2作品に関してコバケン

さんは一言をもち、特有の音楽論を展開していく。

「《カルミナ・ブラーナ》はコーラスがもっとも重要な役割を担います。これにオーケストラが触発されるわけです。ことばの機微や裏に返る声、表に出る声、地面に叩くような声、人のもっている声のすべてがそこで形成され、ことばに見合うように動かなければなりません。そこで私は心のなかの音が導き出せるよう、リハーサルから全身全霊を傾けてタクトを振っていくわけです。オルフはこの作品の前の自作をすべて捨て去り、自分の音楽はこれだという気概をもって《カルミナ・ブラーナ》を世に送り出した。すごいことでしょう。それまでの作品をすべて破棄してしまったのですよ。この作品によって自分の道が見え、光を見出したのでしょう。神の啓示とでもいうべき、強い思いが天から降りてきた。その思いを受け取り、演奏として届けるためには、作品に内包されているエロティシズムを理解し、コーラスもオーケストラも空間に飛び散る音、自分の発している音を心から楽しまないといけません。演奏家が楽しまなければ、聴衆の心には伝わりませんから…」

今回は音楽家にも期待がかかる。

「テノール、バリトンをはじめ音楽家はそれぞれの役柄になりきり、セクシーさや演技力も必要とされます。音楽家はその日のコンディションが非常に大切。万全を期して本番に臨んでくれることを期待しています。それから、今回は児童合唱を参加させていません。コンサートが夜遅い時間帯ということと、子どものうたう作品ではないと考えるからで、東京音楽大学の10人くらいのメンバーで、子どもの声が出せる人を選んでいきますから大丈夫」

この大作の前には、ハンガリーでもあまり演奏される機会がないというコダライの「ガランタ舞曲」が生まれ、これで幕開ける。

「この作品はハンガリーのオーケストラでも難儀する作品。舞曲の要素にうまくアプローチできないのです。ずいぶん前のことになりましたが、ハンガリー国立フィルと演奏したときにも、ようやく30年くらい経ってオランダのコンサートヘボウで演奏したとき、ようやく舞曲らしくなりました。特にホルンが難しい。でも、日本フィルには優秀なホルン奏者がいるため、選曲してみました。《ガランタ舞曲》には日本の情感がただよっていると思います。日本人にも不思議ななつかしさを感じさせる、独特の節回しをもつ情感が…」

この日本の情感の説明のとき、コバケンさんはピアノに向かって、昔の日本の歌曲を弾き語りした。

「こんな説明をするのは私だけでしょうね(笑)。コダライはバルトークとは異なった道を歩み、昔のしきたりを頑なに守った、偉大な人だと思います」

コバケンさんの話は音楽に対するすさまじいまでの熱き想いが凝縮したもの。2作品とも「類まれなる才能がほとばしる作品だから、火花の散るような演奏をしなければ」「奇妙奇天烈なリズムはただ美しいだけではダメ」など、音楽に肉薄することばが飛び出す。演奏は、まさに聴衆の心に火を点けるに違いない。

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan